

平成19年度 正親小学校「学校評価」について

1、目的

＊「計画・実践・評価・見直し」を組み入れた学校評価システムを行うことにより、教育活動の充実・改善を図る。

＊結果を公表することで学校と家庭・地域がお互いの役割を明らかにし、地域ぐるみの教育を推進する。

1) 自己評価の目的

- (1) 学校教育目標実現に向けて達成状況を把握する。
- (2) 改善すべき課題解決に向けて方策を検討し、具体的取組につなぐ。
- (3) 教職員一人一人が担う役割や責任と学校運営の主体者であることの自覚を高める。
- (4) 学校の姿を児童・保護者・地域に知ってもらう資料とする。

2) 外部評価の目的

- (5) 学校・家庭・地域の役割を明確化し、双方向の連携による教育の充実を図る。
- (6) 自己評価に客観性を持たせる。
- (7) 学校や教育に対する見方や考え方を多面的に把握する。
- (8) 学校運営協議会制度の一環として、学校運営に保護者や地域の声を反映する。
- (9) 保護者や地域の方の願いや期待を把握すると共に、地域の学校としての責任を明確にする。

2、評価対象

- ☆ 教育課程の編成とその実施状況
- ☆ その他の教育活動
- ☆ 校務分掌や校内研究・研修
- ☆ 家庭・地域や関係諸機関との連携
- ☆ 予算編成や執行、施設・設備の管理

3、評価方法

- ①全教職員や学校運営協議会理事、保護者、地域の方が評価用紙に記入し、評価する。
- ②分析・考察を行うとともに改善策等をまとめる。

4、評価時期

外部評価・・・	6月（日曜参観）	1月（自由参観）
自己評価・・・	7月（夏休み前）	12月（冬休み前）
児童評価・・・	7月（夏休み前）	12月（冬休み前）

5、評価者

- (1) 自己評価・・・・・・・・全教職員、スクールサポーター
- (2) 外部評価・・・・・・・・児童 保護者 地域の方 他